

次期「西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画」

第9回 策定委員会

日時：令和6年12月10日（火）午後6時30分～8時30分

場所：西淀川区社会福祉協議会3階 第1・2会議室

策定委員：5名

助言者：大阪成蹊短期大学 幼児教育学科 鈴木准教授

事務局：区役所 岡地保健福祉課担当係長、大里保健福祉課担当係長

区社協 長谷川地域支援担当係長、長谷川大陽

1 あいさつ

A委員長

2 次期計画について

(1) 基本理念・基本目標について

ア 基本理念

決定：「人が“やさしい” 自分が“いきる” ふだんの“つながり”が『ここ』にある」

イ 基本目標

決定：「『気かけよう』、『やってみよう』、『ともに進もう』」

※『共生しよう』から『ともに進もう』に変更する（「共生」については別ページで説明する）

・『共生しよう』について

(ア) 「地域共生社会」的な視点をいれたかった。

(イ) 共生することが強制されていると捉えられる可能性もある

(ウ) 『共生しよう』に該当する「話し合いの場づくり」の項目において、「地域活動協議会などでの意見交換」と「総合相談窓口の充実」があり、インフォーマルとフォーマルの資源が混在しているため見直しが必要である

(エ) 『共生しよう』から「とも（共）に」を抽出し、基本目標に設定した

(2) 本編について

ア 全体

【文章】

- ・「です・ます」調では、読み手に「硬いイメージ」を与えてしまう可能性あり
- ・「に～よん」、「ふくふ君」が口語調でセリフを言うデザインに変更する
 - ↳「やわらかいイメージ」になるようデザインする
- ・「〇〇（し）よう」で読み手への呼びかけを意識する

【フォント】

- ・全体的にフォントサイズを大きくする

【写真・イラスト】

- ・写真の掲載数を増やす
 - ↳区民等「知り合いが載っているから見てみよう」
 - ↳本編を手にするきっかけになる
- ・子ども食堂や防災イベント等の写真の記載を検討する
 - ↳保護者からの許可が必要になる
- ・外国籍の方のイラストを記載する
- ・「顔ハメ看板」的なイラストを記載し、読み手が自由に自身等の顔をはめられるようにするのもよい

イ 表紙

- ・「西淀川区 あい♡（あい）プラン」から「西淀川 あい♡（あい）プラン」に変更する
- ・タイトル「西淀川 あい♡（あい）プラン」のイラストを変更する
- ・計画期間の記載場所を検討する必要あり
 - ↳表紙上部への記載では、読み手に「硬いイメージ」を与える可能性あり

ウ 中面

【地図ページ】

- ・地図サイズを検討する（現計画と同サイズにするか）
- ・連絡先の表記方法を検討する
 - ↳思春期の定義等

【基本理念ページ】

- ・「基本目標&具体の取り組み（例）」（案）の内容及び構成を見直す
 - ↳「取り組み」のページに占める割合を増やし、活動を周知する
- ・「まち」のイラストに人を多用する

エ 裏表紙

- ・「MA I D Oにしよど」集合写真等、多数の写真の記載を検討する

(3) その他

- ・各取り組みや活動の掲載にあたり、正式名称を使用する

3 あいさつ

鈴木准教授

- ・言葉の背景を理解し、重層的支援体制整備事業の視点から「具体の取り組み（例）」を精査していく

A委員長

- ・令和7年1月（仮）の推進会議に向けて進めていきたい